



タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1128		
科目名	地理学 2		
担当教員	山添 謙		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	木 2		
講義室	1315	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	総合教育		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	文化教養		
科目の位置付け (開発能力)	<p>■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連</p> <p>D P 2 - A [日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢] 地球的視点で物事を多面的に捉え、異文化との交流の重要性を認識するとともに、異文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し互恵関係を構築することができる。</p> <p>D P 1 - D [市民的素養・市民的教養] 市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。</p> <p>D P 4 - I [理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。</p> <p>■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック (C R) との関連</p> <p>A 1 グローバル感覚 (10%)</p> <p>A 2 異文化適応 (10%)</p> <p>D 1 市民的素養と参加 (40%)</p> <p>I 1 理解・分析と読解 (10%)</p> <p>I 2 量的分析 (15%)</p> <p>I 3 情報分析 (15%)</p>		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	2 進行期～3 発展期		
科目概要・キーワード	<p>現代の人間社会が抱える様々な問題について地理的な見方・考え方を通して理解することを目標とします。2000年に掲げられたミレニアム開発目標 (M D G s) は、20世紀までに積み重ねられた人間社会の問題を解決へ向かわせることを目的にしていたが、いまだ解決に至っていません。それらの問題の背景にある、資源や富などの地域的な偏りの考察を通して、地球的課題の解決へ向けて、その道筋について考えます。地理学 2では、地理学 1で身に付けた地理的な見方・考え方をもとにして、現代社会が抱える諸課題について広い視野から概観します。とくにミレニアム開発目標に続く持続可能開発目標 (S D G s) について考えます。授業は講義形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づく効果的な授業方法として、また授業を補完・代替する必要がある場合に、オンライン授業を取り入れます。</p> <p>キーワード：人間-環境系、空間スケール、20世紀、持続可能性</p>		
授業の趣旨	<p>■ 副題</p> <p>20世紀とはどのような時代であったのか? 「人口爆発」をキーワードにし、現代社会が抱える様々な問題を自然、資源、社会、産業などの切り口で考えます。世界地図の上で現代を考えましょう。</p> <p>■ 授業の目的</p> <p>21世紀の人類社会が抱えるさまざまな課題について、地球的視野から人間-環境系の枠組みをもって考えます。地理学は、グローバルからローカルまでの空間スケールの中で、これらの</p>		

	<p>関係を追及し、人間と環境との関係を横糸に、異なる空間スケールの現象の結びつきを縦糸にして、現代社会の諸問題を考えてきました。21世紀の人類社会が抱える地球的課題について基本的視座を涵養するとともに、それぞれの問題が相互に関連していることを理解し、地球規模のつながりと地域の多様性を前提にした現代社会のとらえ方を身に付けることを目的とします。</p> <p>■授業のポイント 20世紀の間に世界の人口はどのように変化したのでしょうか。その人口変化の背景に何があるのでしょうか。SDGsが目指す社会とはどのような社会でしょうか。私たちが住む人間社会を地球的な視野から考えましょう。</p>								
総合到達目標	<p>■地球的課題の解決のために、20世紀の人間社会の変化の過程を理解し、地球的課題に関する地理情報を活用して地理的見方・考え方の活用方法を模索する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20世紀に起きた人間社会の変化とその背景について説明できる（第1回～第5回）。 ・現代社会が抱える地球的課題について地理情報を収集・活用できる（第6回～第14回）。 ・それぞれの問題の背景や関連について多様な観点で判断できる（第1回～第15回）。 ・現代社会が抱える諸課題の解決へ向けて地理的な見方・考え方をもちて追究し、提案できる（第6回～第15回）。 								
成績評価方法	<p>■統計資料に基づいた主題図の作成作業（10%）適用ルーブリックI1、I2、I3 （評価の観点）世界の現状について、適切な表現方法をもちいてわかりやすく主題図が作成されているか。 （フィードバックの方法）授業中に評価のポイントを解説します。</p> <p>■20世紀の人口変化に基づいた地域ごとの変化に関するレポート（20%）適用ルーブリックA1、A2、D1、I1 （評価の観点）20世紀にみられる人口の変化を、世界や地域の観点で図表を用いて説明しているか。 （フィードバックの方法）授業中に評価のポイントを解説します。</p> <p>■さまざまな主題図に基づいた小レポート（20%）適用ルーブリックA1、A2、D1、I1、I3 （評価の観点）取り上げた問題を説明するのに適切な主題図を選択しているか、主題図を適切に読み取れているか。読み取った情報をもとに問題を適切に説明しているか。 （フィードバックの方法）授業中に評価のポイントを解説します。</p> <p>■レポート試験（50%）適用ルーブリックA1、A2、D1、I1、I3 （評価の観点）世界の現状とその問題について、いくつかの指標を用いて論理的に説明できているか。 （フィードバックの方法）授業中に評価のポイントを解説します。</p>								
履修条件	なし。								
履修上の注意点	<p>世界の現状に関心をもって授業にのぞんでください。 なお、令和4年度入学用カリキュラム新規開講科目「国際・自然環境論」（3年次配当）の履修条件として『「地理学2」を履修していることが望ましい』と掲げられます。</p>								
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="464 1339 512 1384">回</th> <th data-bbox="512 1339 1490 1384">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="464 1384 512 1720">1</td> <td data-bbox="512 1384 1490 1720"> <p>①授業テーマ 教養科目の学びと地理学2の学修について</p> <p>②授業概要 授業の概要、目的、到達目標および授業の方法について説明を聴き、評価規準について説明できる。また、地理学2の要点について説明できる（A1、A2、D1）。</p> <p>③予習（120分） 地理学2のシラバスを精読し、教科書として提示した地図帳の全ページをめくり、どのような内容が示されているかを確認する。</p> <p>④復習（120分） 「人間－環境系」における人間と環境との相互作用について事例を挙げて説明する。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 1720 512 2056">2</td> <td data-bbox="512 1720 1490 2056"> <p>①授業テーマ 「20世紀」とはどのような時代か</p> <p>②授業概要 20世紀に起きた自然災害、社会事象、特徴的な事件を挙げ、時間的・空間的な枠組みの中で「20世紀の捉え方」を考えることができる（A1、A2、D1、I1）。</p> <p>③予習（120分） 予習動画を視聴し、20世紀に起きた事象を例に、どのような時代であったかを考え、まとめる。</p> <p>④復習（120分） 中学校・高等学校の社会科として学んできた内容を地球的課題の中に位置づける。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 2056 512 2157">3</td> <td data-bbox="512 2056 1490 2157"> <p>①授業テーマ 20世紀における人口、社会、都市の変化</p> <p>②授業概要</p> </td> </tr> </tbody> </table>	回	内容	1	<p>①授業テーマ 教養科目の学びと地理学2の学修について</p> <p>②授業概要 授業の概要、目的、到達目標および授業の方法について説明を聴き、評価規準について説明できる。また、地理学2の要点について説明できる（A1、A2、D1）。</p> <p>③予習（120分） 地理学2のシラバスを精読し、教科書として提示した地図帳の全ページをめくり、どのような内容が示されているかを確認する。</p> <p>④復習（120分） 「人間－環境系」における人間と環境との相互作用について事例を挙げて説明する。</p>	2	<p>①授業テーマ 「20世紀」とはどのような時代か</p> <p>②授業概要 20世紀に起きた自然災害、社会事象、特徴的な事件を挙げ、時間的・空間的な枠組みの中で「20世紀の捉え方」を考えることができる（A1、A2、D1、I1）。</p> <p>③予習（120分） 予習動画を視聴し、20世紀に起きた事象を例に、どのような時代であったかを考え、まとめる。</p> <p>④復習（120分） 中学校・高等学校の社会科として学んできた内容を地球的課題の中に位置づける。</p>	3	<p>①授業テーマ 20世紀における人口、社会、都市の変化</p> <p>②授業概要</p>
回	内容								
1	<p>①授業テーマ 教養科目の学びと地理学2の学修について</p> <p>②授業概要 授業の概要、目的、到達目標および授業の方法について説明を聴き、評価規準について説明できる。また、地理学2の要点について説明できる（A1、A2、D1）。</p> <p>③予習（120分） 地理学2のシラバスを精読し、教科書として提示した地図帳の全ページをめくり、どのような内容が示されているかを確認する。</p> <p>④復習（120分） 「人間－環境系」における人間と環境との相互作用について事例を挙げて説明する。</p>								
2	<p>①授業テーマ 「20世紀」とはどのような時代か</p> <p>②授業概要 20世紀に起きた自然災害、社会事象、特徴的な事件を挙げ、時間的・空間的な枠組みの中で「20世紀の捉え方」を考えることができる（A1、A2、D1、I1）。</p> <p>③予習（120分） 予習動画を視聴し、20世紀に起きた事象を例に、どのような時代であったかを考え、まとめる。</p> <p>④復習（120分） 中学校・高等学校の社会科として学んできた内容を地球的課題の中に位置づける。</p>								
3	<p>①授業テーマ 20世紀における人口、社会、都市の変化</p> <p>②授業概要</p>								

	<p>20世紀の人口変化を概観し、地域ごとの相違について考察し、その背景について説明できる。産業構造の変化、都市人口率の変化から、地域ごとの社会の変化の概要について説明できる (A1、A2、D1、I1)。</p> <p>③予習 (120分) 予習動画を視聴し、「人口爆発」について、その実態と背景について考察する。具体的には、授業中に解説します。</p> <p>④復習 (120分) 日本の都市化と産業構造の変化の特徴についてまとめる。</p>
4	<p>①授業テーマ 20世紀における資源、エネルギーの開発と産業の変化</p> <p>②授業概要 化石燃料や鉄鉱石、その他の資源の分布と、生産、流通、消費との関係の概要について説明できる (A1、A2、D1、I1)。</p> <p>③予習 (120分) 予習動画を視聴し、「エネルギー革命」の意味するところを考える。</p> <p>④復習 (120分) 日本のエネルギー構造の変化について整理する。</p>
5	<p>①授業テーマ 20世紀における自然環境の変化</p> <p>②授業概要 20世紀における、顕著な火山噴火や大規模地震の発生、大気環境の変化について説明できる。プレート境界と地震・火山との関係について説明できる。セカンド・ミレニアムにおける気候変化を通して人間社会の変化と自然環境との関係について説明できる (A1、A2、D1、I1)。</p> <p>③予習 (120分) 予習動画を視聴し、プレート境界のタイプと、火山・地震の活動との関係を考察する。「ミレニアム (千年紀)」について確認する。</p> <p>④復習 (120分) 20世紀における世界の気温変化を資料に基づいて図化し、考察する。</p>
6	<p>①授業テーマ 世界人口の変化とその背景</p> <p>②授業概要 第2回において概観した人口の変化の背景を、出生率、乳児死亡率、識字率、1人当たりのGDP、宗教などの社会指標との関係について説明できる。「人口爆発」の背景とその課題について説明できる (A1、A2、D1、I1)。</p> <p>③予習 (120分) 予習動画を視聴し、地図帳に掲載されている社会指標に関する図の特徴を整理する。それぞれの「主題図」の着眼点について授業中に解説します。</p> <p>④復習 (120分) 世界人口の将来推計にもとづいて、予期される問題点について整理する。</p>
7	<p>①授業テーマ 先進国における人口問題・途上国における人口問題</p> <p>②授業概要 人口ピラミッドをもとに人口動態の考え方を理解したうえで、人口転換モデルについて理解し、その課題について説明できる (A1、A2、D1、I1、I2、I3)。</p> <p>③予習 (120分) 予習動画を視聴し、日本の20世紀における人口ピラミッドの変化について調べ、その特徴を明らかにする。</p> <p>④復習 (120分) 日本の少子高齢化の問題点について考察する。</p>
8	<p>①授業テーマ 世界の食料生産に関する問題とその背景</p> <p>②授業概要 世界の「食料生産指数」の変化について概観したうえで、世界の穀物生産の特徴と人口との関係を地域ごとに説明できる。さらに、穀物生産の不安定性の課題とその背景を説明できる (A1、A2、D1、I1、I2、I3)。</p> <p>③予習 (120分) 予習動画を視聴し、マルサスの「人口論」の概要について調べる。</p> <p>④復習 (120分) 近年の穀物価格の変動とその背景について考察する。</p>
9	<p>①授業テーマ 「飽食」と「飢餓」が同居する世界</p> <p>②授業概要 先進国を中心に進む「飽食」の実態を明らかにし、その問題を「食品ロス」を指標として説明できる。一方、世界各地の「飢餓」の実態と背景を説明できる</p>

	<p>(A1、A2、D1、I1、I2、I3)。</p> <p>③予習 (120分) 予習動画を視聴し、飢餓人口の分布と飢餓の現状について調べる。</p> <p>④復習 (120分) 日本の「食品ロス」の現状について考察する。</p>
10	<p>①授業テーマ 都市と都市化</p> <p>②授業概要 20世紀に急激に進んだ都市化について概観し、都市化によってもたらされる様々な問題について説明できる (A1、A2、D1、I1、I2、I3)。</p> <p>③予習 (120分) 予習動画を視聴し、集落、都市、村落の違いについて調べる。</p> <p>④復習 (120分) 日本のDID人口をもとに日本の都市化について考察する。</p>
11	<p>①授業テーマ さまざまな都市問題と、都市型のライフスタイル</p> <p>②授業概要 スラム、ドーナツ化現象、スプロール現象等の都市問題について概観し、「過密」に伴う環境問題について説明できる。さらに、都市型ライフスタイルと環境問題との関係について説明できる (A1、A2、D1、I1、I2、I3)。</p> <p>③予習 (120分) 予習動画を視聴し、スラムについて代表的な事例を調べる。</p> <p>④復習 (120分) 今後予想される都市問題とその対策について考察する。</p>
12	<p>①授業テーマ 世界の資源・エネルギー問題</p> <p>②授業概要 人間にとって有用とされる資源の利用について概観し、地下資源について、埋蔵量、生産量、消費量及び貿易の現状について説明できる (A1、A2、D1、I1、I2、I3)。</p> <p>③予習 (120分) 予習動画を視聴し、「資源」の意味について、調べる。</p> <p>④復習 (120分) 「可採年数」、「都市鉱山」をもとに、資源の有効利用について考察する。</p>
13	<p>①授業テーマ エネルギーの過去・現在・未来</p> <p>②授業概要 産業構造の変化、ライフスタイルの変化等とエネルギー消費の変化を概観し、枯渇性エネルギーと再生可能エネルギーについて説明できる (A1、A2、D1、I1、I2、I3)。</p> <p>③予習 (120分) 予習動画を視聴し、日本における産業構造の変化とエネルギー消費の推移について調べる。</p> <p>④復習 (120分) 日本における今後のエネルギー利用について考察する。</p>
14	<p>①授業テーマ 地球環境問題と地域環境問題</p> <p>②授業概要 人間-環境系における「環境問題」について説明できる。空間スケールの相違と、人間と環境との相互作用の仕組みについて理解し、地球環境問題と地域環境問題の特徴について説明できる (A1、A2、D1、I1、I2、I3)。</p> <p>③予習 (120分) 予習動画を視聴し、典型的な8つの地球環境問題について調べ、共通点を明らかにする。</p> <p>④復習 (120分) 都市における環境問題について考察する。</p>
15	<p>①授業テーマ 地理学2のまとめ</p> <p>②授業概要 これまでの授業での学びを振り返り、持続可能性の定義を検討し、これからの社会のあるべき姿について自分の考えを説明できる (A1、A2、D1、I1、I2、I3)。</p> <p>③予習 (120分) 授業のノート全体を振り返る。</p>

	④復習（120分） 専門教育の学修と地理学との関係を考察する。
関連科目	地理学1（RMGT/SSCS 1127）、地球科学1（RMGT/SSCS 1155）、地球科学2（RMGT/SSCS 1156）
教科書	『標準高等地図』帝国書院、LMS等にてプリントを配信する。
参考書・参考URL	環境省『令和5年版 環境・循環型社会・生物多様性白書』 (https://www.env.go.jp/policy/hakusyo/)
連絡先・オフィスアワー	オフィスアワー（詳細は授業にて提示）にて対応します。 メールアドレス等の連絡先は授業中に示します。
研究比率	



Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.